

映画

ヒゲの校長

上映会 & アフタートーク

《プログラム》

18:00 ~ 20:00 (上映時間 120 分)

映画 **ヒゲの校長** 上映 (字幕付)

20:10 ~ 21:00 (50 分)

アフタートーク

(手話通訳・文字サポート付)



© 2020 映画「ヒゲの校長」実行委員会



＜ゲスト＞

主演・高橋 潔 役

尾中友哉 さん

NPO法人 Silent Voice
代表理事



＜聞き手＞

高橋陽子

公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長

2023.12.14 (木)

18:00 ~ 21:00 (17:15 開場)

《会場》日比谷図書文化館

日比谷コンベンションホール (大ホール)

東京都千代田区日比谷公園 1-4

東京メトロ丸の内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」、
都営地下鉄三田線「内幸町駅」いずれも徒歩約3分、
JR「新橋駅」日比谷口より徒歩約10分

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会 (JPA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585 Email：expo@philanthropy.or.jp

HP：https://www.philanthropy.or.jp

入場無料

《定員》150名 (要事前申し込み)

日本フィランソロピー協会

検索



または QR コードから
お申し込みください。



公益社団法人日本フィランソロピー協会 第414回定例セミナー特別企画

映画『ヒゲの校長』上映会&アフタートーク

‘共に生きる’の真実を、100年前の校長の奮闘に見る

<開催趣旨>

公益社団法人日本フィランソロピー協会では、障がいのあるなし等属性に関わらず、誰もが社会の一員として大切にされつつ主体的に参加できる社会づくりをめざしています。フィランソロピーとは、人間愛というギリシャ語が語源です。この映画は、ヒゲの校長先生の愛の物語です。当協会の今年最後のセミナーとして、校長先生の子どもたちへの愛の物語をお伝えして、現在の教育の在り方に思いを馳せ、教育の本質を改めて考えてみたいと思いました。この映画では、手話が禁止されそうになった歴史や手話の文化を知ることだけでなく、一人ひとりの個性や特性を生かすための信念と努力が、またさまざまな葛藤や軋轢に向き合い、対立を越えていく様が描かれています。一人ひとりの特性に合わせた教育が豊かな心を育むことを信念として、ろう者の手話を守った実在の聾学校の校長先生の愛の物語です。アフタートークでは映画の主演俳優である尾中友哉さんをお迎えし、ろう者の両親を持つ耳の聞こえる子ども（CODA）としての尾中さんの経験や、今回この映画の主演に挑戦した思いなどについて直接お話を伺います。皆さま お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

■ 映画『ヒゲの校長』について（上映時間：18:00～20:00／字幕付）

今から100年前。ろう者を守るために奔走した教師たちがいた。手話を守った一人の校長の物語

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって手話はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通うろう学校・聴覚支援学校では、手話が使われてきたのだらう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「口話法」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまったからです。聞こえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。

この映画の舞台となる大阪市立聾学校です。映画『ヒゲの校長』は、校長 高橋潔を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話がもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあげくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

■ アフタートーク（20:10～21:00／手話通訳・文字サポート付）

<ゲスト> 主演・高橋 潔 役

尾中友哉（おなか ともや）さん／NPO 法人 SilentVoice 代表理事

1989年滋賀県大津市出身。ろう者の両親のもとに生まれた聞こえる子ども（コーダ）として、母語として手話を身につける。平成30年間の家庭内の生活変化の大きさと社会の変化の小ささに疑問を持ち Silent Voice を創業。「聴者とデフが共にできるをふやす」をスローガンに教育事業等に取り組む。2018年人間力大賞 内閣総理大臣奨励賞 受賞。映画『ヒゲの校長』主人公高橋潔役。

※CODA（コーダ／Children of Deaf Adults の略）

当協会では、障がいのあるなしにかかわらず、その人がその人らしく生き生きと過ごせる、誰もが文化芸術にふれることができる地域・社会が広がることを目指しています。その一環として大阪万博共創パートナーに参画しています。本セミナーは、その活動を多くの皆さまとともに協働していくことを目的に、定例セミナー特別企画として開催するものです。

TEAM
EXPO
2025

公益社団法人日本フィランソロピー協会は、「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーに参画しています。